



報道関係各位

「がん情報サービス」に＜小児・AYA 世代のがん罹患＞

統計解説ページを新規掲載

小児・AYA の最新の罹患率とがん種順位も公表

2018年5月30日

国立研究開発法人 国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜齊、所在地:東京都中央区、略称:国がん)がん対策情報センター(センター長:若尾文彦)がん統計・総合解析研究部は、厚生労働科学研究費補助金「都道府県がん登録の全国集計データと診療情報等の併用・突合によるがん統計整備及び活用促進の研究」研究班の「地域がん登録」データを活用し、2009年から2011年に新たにがんと診断された小児及びAYA(Adolescent and Young Adult、思春期・若年成人)世代のがん罹患率を人口集団ベースで集計し、統計解説ページを新規に掲載しました。

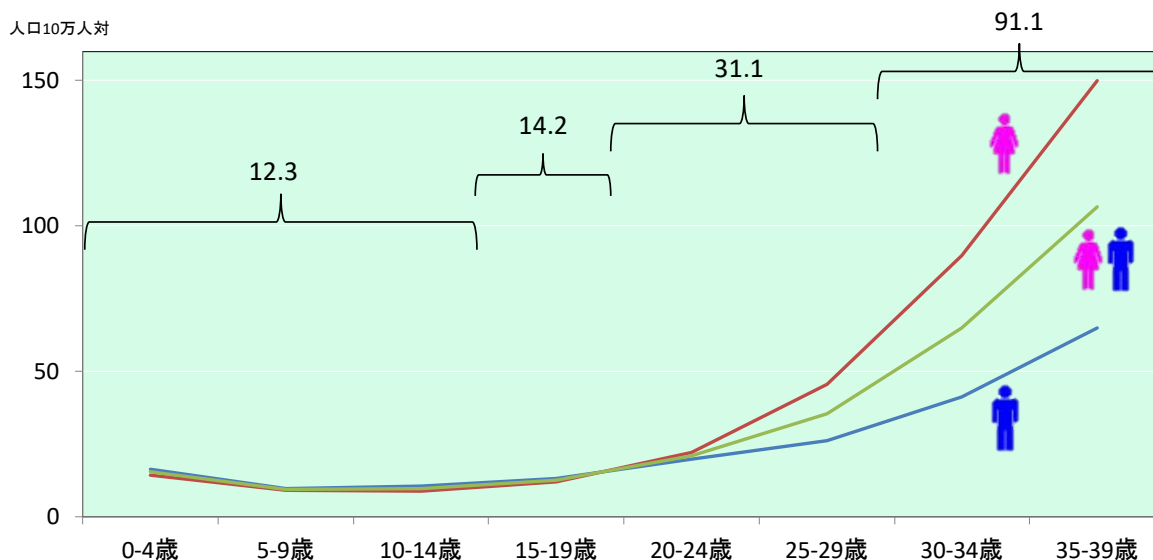
小児がんは、一般に0歳から14歳のがんを指します。AYA世代は15歳から20歳代、30歳代を指すことが多く、ここでは15歳から39歳を指します。小児がんのみの罹患率は2007年に公表されたものがありましたが、対象地域が15府県と少なく、診断年が1993年から2001年と古いデータでした。今回、より最近かつより多くの地域をカバーする人口集団ベースのデータで、対象年齢をAYA世代に拡大して集計を行いました。小児からAYA世代のがん罹患率を、全国規模の人口集団ベースで、小児がん国際分類に従って集計した例はなく、今回小児期からAYA世代にかけて多くみられるがん種の順位も合わせて初公表となりました。

【結果の概要】

- 本集計は、2009年から2011年の間に「地域がん登録」に参加した都道府県のうち、精度基準を満たした27府県(青森、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、滋賀、京都、和歌山、島根、岡山、広島、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分)のデータを用いました(人口カバー率36.8%)。
- 2009年から2011年の小児がん(0歳から14歳)の罹患率は、12.3(人口10万人あたり)でした。AYA世代のがん罹患率は、15歳から19歳で14.2、20歳代で31.1、30歳代で91.1(人口10万人あたり)でした。(図1)
- これらの罹患率を日本全体の人口に当てはめると、1年間にがんと診断される症例数は小児(0歳から14歳)で約2,100例、15歳から19歳で約900例、20歳代で約4,200例、30歳代で約16,300例と推計されます。

- がん種別順位では、0歳から19歳で白血病が1位、20歳代では胚細胞腫瘍・性腺腫瘍が1位、30歳代では女性の乳がんが1位でした。(表1)
- 2007年の先行研究の結果と比べると、全体的に今回の罹患率の方が高い結果になりました。これは、がん登録の精度が向上したことが原因と考えられます。

図1 小児・AYA世代のがんの年齢階級別罹患率(男女計 2009-2011年)



(注) がんは通常、悪性の腫瘍を指しますが、小児など若年のがんの統計では良性・良悪不詳の脳腫瘍を合わせて含むことがあります。図1の罹患率は良性・良悪不詳の脳腫瘍を含みます。

表1 罹患率が高いがん種順位(全がんに占める割合)^(注1,2)

	1位	2位	3位	4位	5位
0～14歳 (小児)	白血病 [38%]	脳腫瘍 [16%]	リンパ腫 [9%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [8%]	神経芽腫 [7%]
15～19歳	白血病 [24%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [17%]	リンパ腫 [13%]	脳腫瘍 [10%]	骨腫瘍 [9%]
20～29歳	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [16%]	甲状腺がん [12%]	白血病 [11%]	リンパ腫 [10%]	子宮頸がん [9%]
30～39歳	女性乳がん [22%]	子宮頸がん [13%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [8%]	甲状腺がん [8%]	大腸がん [8%]

(注1) 国際小児がん分類(International Classification of Childhood Cancer)第3版のグループに基づく悪性腫瘍の順位(ただし「その他の癌」は部位で分類)。

(注2) がん種間の比較のためいずれのがん種も悪性の腫瘍のみ。

【罹患率(りかんりつ)とは】

ある集団で新たに診断されたがんの数を、その集団のその期間の人口で割った値。通常 1 年単位(本集計では 3 年間の年平均値)で算出され、「人口 10 万人のうち何例罹患したか」で表現されます。
200X 年の罹患率(粗罹患率) = 200X 年に新たに診断されたがんの数 / 200X 年の人口 × 100000
です。

【公開ウェブサイト】

がん情報サービス URL: <https://ganjoho.jp>

- 一般向け

「がん統計 小児・AYA 世代のがん罹患」罹患率の順位などポイントをご紹介します。

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/child_aya.html

- 医療関係者向け 元データを Excel にてダウンロードできます。

「集計表のダウンロード 4. 罹患データ(小児・AYA がん)」

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html

【研究費】

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業「都道府県がん登録の全国集計データと診療情報等の併用・突合によるがん統計整備及び活用促進の研究」

【参考文献】

Katanoda K, Shibata A, Matsuda T, Hori M, Nakata K, Narita Y, Ogawa C, Munakata W, Kawai A, Nishimoto H. Childhood, adolescent and young adult cancer incidence in Japan in 2009–2011. Jpn J Clin Oncol. 2017 Aug 1;47(8):762–771. doi: 10.1093/jjco/hyx070.

ダウンロード URL: <https://academic.oup.com/jjco/article/47/8/762/3852037>

<報道関係からのお問い合わせ先>

国立研究開発法人国立がん研究センター

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

企画戦略局 広報企画室

TEL: 03-3542-2511(代表) FAX: 03-3542-2545 E-mail: ncc-admin@ncc.go.jp